

介護職員初任者研修講座

～資格習得を考えているあなたに～

介護職員初任者研修は、介護の基礎から応用までを学ぶことができる、介護職としてのスタート資格です。介護職を希望される方はもちろん、介護の知識や技術を向上させたい方、今後、家族介護を希望されている方等幅広く役に立てる事が出来ます。



～介護職は、何歳からでもキャリアアップが目指せる～

介護職は年齢に関わらず、働いた年数にあわせて介護福祉士・ケアマネジャーなどの受験資格を得られ、キャリアアップのチャンスがあります。その中でも、介護職員初任者研修は、介護職のスタート資格であり、介護の専門職として正社員からアルバイトまで様々な働き方で活躍できる資格です。



～介護職員初任者研修では、どんなことが身につくの?～

介護の仕事では、高齢者や障がいのある方の日々の生活、自立をサポートします。食事や入浴、着替え、移動など、さまざまな場面で、介護される人の状態に応じて、適切に対応することが求められます。そのためには、しっかりとした介護の知識と技術が欠かせません。

「介護職員初任者研修」では、介護職に求められる基礎知識や基本的な介護技術を身につけます。まさに、介護の仕事をするための、最初の入り口となる研修です。



～介護職員初任者研修のカリキュラムは、どんな内容?～

研修科目	時間数
職務の理解	6時間
介護における尊厳の保持・自立支援	9時間
介護の基本	6時間
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間
介護におけるコミュニケーション技術	6時間
老化の理解	6時間
認知症の理解	6時間
障害の理解	3時間
こころとからだのしくみと生活支援技術	75時間
振り返り	4時間
合計	130時間



講義は、福祉現場で勤務経験のある講師が担当します。

